

# 国際交流通信

October 25, 2021 国際教育部 Vol.3



2 学期中間考査や文化祭が終わり、気が付けば 10 月も後半です。今回はコロナ禍で主流となったオンラインによる国際交流などについて報告します！

## アジア・オセアニア



## 高校生フォーラム

(7 月 26 日～28 日)



### アジア・オセアニア高校生フォーラムとは？

和歌山県内外の高校生とアジア・オセアニアの国や地域の高校生が、共に世界共通の課題についての意見交換・プレゼンテーション・文化紹介等を通じ、グローバル社会で活躍できるリーダーを育成することを目的に、平成 27 年度より実施しています。

さらに、本県の高校生が、和歌山の文化遺産等に触れ、他国等の高校生と相互理解を深めるとともに、郷土への愛着と誇りを育む機会としています。

第 7 回目を迎えた本会は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が収束していないということで、前回に引き続きウェブ会議形式で開催されました。

2 年 H 組の森碧羽さんは「教育」に関する分科会で、「日本の教育：変革の時？」をテーマに英語で発表しました。また、同じく 2 年 H 組のベアトリス・マルウィナさんが「環境」に関する分科会で、それぞれの発表者のプレゼンを要約して全体会で伝えました。

両名とも、参加者の様々な考えや、英語でのハイレベルなディスカッションに触れることができ、大変刺激を得たようです。今回学んだことを周りに広め、自身の行動にも反映させていきたいと抱負を述べていました。



## オンライン留学



(8 月 18 日～23 日：オーストラリア・ケアンズ)

### オンライン留学とは？

一般的に留学とは、海外の高校などに進学する正規留学や語学留学を指します。一方でオンライン留学は、すでに 20 年ほど前から世界的に普及していますが、日本において一昔前までは、オンラインだと十分な教育が受けられないのではないかという風潮があったかもしれません。しかし現在、コロナ禍を契機に日本にも普及しつつあり、今後の派遣・受入留学のオンライン化は加速すると考えられています。

場所を選ばない国際交流は時間や経済的な制約が少ない等のメリットもあります。越境によって得られるもの、得られないものを区別し、教育機会を与え、越境しない国際教育と越境すべき国際教育を組み合わせたいと考え、オンライン留学を企画しました。

今回は、1 年生から 3 名、2 年生から 6 名、3 年生から 6 名が参加し、オーストラリア（ケアンズ）でのオンライン留学に向け、6 月頃から準備をしてきました。

4 日間の日程のうち、1 日目はネイティブの講師による英語レッスンがあり、プレゼンテーションの仕方や発音の指導を受けました。2 日目から 4 日目まではケアンズの学生に対してプレゼンテーションと質疑応答やフリートークを行いました。

単発で実施する海外交流とは異なり、その日のチャレンジと反省が次の日に生かせるのがオンライン留学の利点です。日々成長する生徒の姿が頼もしく思えました。本校では始めて実施されたオンライン留学ですが、プログラムをアップデートし、今後も続けていきたいと考えています。



## 「わかやま国際ネットワーク」



### 事前学習

(9月17日)



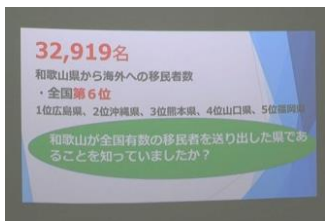
国際交流科の2年生は今年11月と来年1月に開催される和歌山県主催の「わかやま国際ネットワーク」に参加し、在外和歌山県人会の皆さんとオンラインで交流する予定です。この日は事前学習として、和歌山県国際課の職員による特別講義をオンラインで受講しました。

講義では、移民史の概要と、1月に交流予定の在シアトル和歌山県人会「シアトル紀州クラブ」について、



様々な資料をとともにお話しいただきました。

交流会では、日本文化・学校生活の紹介と、移民に関する学習発表を行う予定です。



## 和歌山大学「出前講座」

(10月12日)

和歌山大学准教授の松山哲也先生をお招きし、「英語と日本語が好む事態把握と表現方法」をテーマにご講義いただきました。

日本語は「窓が割られた。」というように出来事に着目して話しますが、英語では“Someone has broken the window.”というように人物に注目して文を作ります。同じ窓が割れたという出来事であっても、英語話者と日本語話者では捉え方が違うということに言語の面白さがあるのだと気づかされました。

生徒からは、「英語の問題を授業で解いていて、日本語訳には「私」という言葉がないのに、どうして英語では“I”を入れなくてはいけないのだろうと疑問に思っていた。日本語と英語の違いを知ること、疑問に思っていたことを知ることができて良かった。」といった感想が聞かれました。



## ★Special Interview★

10月の間、星林高校でFLT（外国語教員）として活躍している先生を紹介します。今回のインタビュアーは1年I組の稲田くん、古賀さんです！



### Q1. 自己紹介

名前：Nicholas Lemoine（ニコラス ルモワン）先生

出身：アメリカ

### Q2. どうして日本に来たのですか？

日本に興味があったから。和歌山はとてもいいところですね。

### Q3. 日本に来て驚いたことは？

日本はとても忙しいこと。東京にはNYよりもたくさんの方がいて驚きました。

### Q4. 日本で行きたい場所は？

TDLと広島です。とても行ってみたいです！

また、USJにも興味があります。

### Q5. 日本語の勉強方法は？

主にリスニングを鍛えています。日本語はとても難しいです。でも素晴らしいと思います。

### Q6. 好きな日本料理は？

寿司です。特にカニ、うなぎ、イカですね。

### Q7. なぜ、アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロンが好きなのですか？

ウルトロンはとてもかっこよくて、面白い悪役だから！

### Q8. 初めて日本に来たとき、怖かったですか？

少しだけ。でも、それより大きな経験があって、楽しさが勝ちます！

ご協力いただいたニック先生、インタビュアーの2人ありがとうございました！

ニック先生はサム先生と同じくとても気さくな先生です！

一緒に過ごす時間は残り少ないですが、気軽にニック先生に話しかけてみましょう( ^ω^ )

